

平成22年三条市議会第6回定例会請願文書表

| | | | |
|------|-------------------------|-------|-------------|
| 受理番号 | 第 7 号 | 受理年月日 | 平成22年12月13日 |
| 件名 | 高齢者の生活実態に見合う年金引上げを求める請願 | | |
| 紹介議員 | 武藤元美君 西川哲司君 | | |

請 願 文

【請 願 理 由】

高齢者の所在不明が次々と報告され、大きな社会問題となっています。背景に高齢者の貧困があることが指摘されています。この10年間、年金は三度引き下げられました。他方、所得税や住民税の増税などが高齢者の生活を脅かしています。

取り分け無年金者と低年金者の生活は厳しく、安心して老後を送ることができなくなっています。憲法で保障された最低生活を保障することは緊急の課題となっています。

現在無年金者は100万人を超え、低年金者はその何倍にも上ります。国民年金の受給者も苦しい生活を強いられています。国民年金保険料の納付率も60%前後まで低下し、将来の無年金者と低年金者の増加が懸念されています。

全国の高齢者からは「少ない年金から天引きされ生活できない」「誰も頼れる人がいない。生活保護を受けるしかない」「蓄えも底をついた。将来が不安だ」など切実な声が寄せられています。私たちは消費税によらない最低保障年金制度を目指していますが、制度が実現するまで、膨大な無年金者や低年金者を放置することはできません。

私たちは、直ちに無年金者と低年金者の生活を保障する生活支援金を支給することを強く要求します。2010年の物価指数が低下したとしても、年金減額改定は凍結すべきです。

以上の趣旨から、次の事項を求める意見書を関係機関に提出して下さるよう請願いたします。

【請 願 事 項】

- 1 無年金者と低年金者に生活支援金を支給すること。
- 2 消費者物価指数が下がっても2011年度の年金は引き下げないこと。
- 3 高齢者の生活実態に見合う年金の引上げを行うこと。

付託委員会

市民福祉常任委員会